

サンパウロ大学への協定留学（交換留学） 月例報告書（6月分）

留学先大学：サンパウロ大学

氏名：深町彰真

【はじめに】

みなさん、**Bom dia!** ふかまちです。ブラジルに留学し、もう6月になりました。大学の授業も後半戦になり、中間テストがある期間になりました。ブラジルの授業の進度は日本よりも早く、難しいので神経を使います。

そんなことはさておき、今回は休日を利用してあの世界三大瀑布の1つ、イグアスの滝に行ってきたので、ブラジルを代表する自然遺産を巡る旅について書いていければと思います。

【14時間の陸路】

今回、ふかまちはイグアスの滝まで陸路で向かうことにしました。空路もありますが陸路の2~5倍の金額がかかるので、節約のために高速バスを選びました。ブラジルの高速バスはとてクオリティが高く、快適なことで有名で、日本の高速バスが一番低いグレードくらいで、高価な席だとシングルベッドのようなフルフラットリクライニングができるシートを装備しています。飛行機のビジネス・ファーストクラスのような座席で安く移動できるのは日本では体験できないなと思います。（ヘッドレストもふかふか。）



※高速バスのチケットの購入はこちらから (<https://www.clickbus.com.br/onibus/sao-paulo-sp-todos/foz-do-iguacu-pr?departureDate=2023-09-11>)

しかし、大きな問題があります…。サンパウロからイグアスまでの道のりは約 1100 kmで、

14時間かかります。ふかふかの座席といえども14時間車内にいるのはなかなか辛いものでした。食事はバスの中では提供されないため、途中のSAで食事を買うか、自分でお弁当などを事前に準備しておく必要があります。車内にはウォーターサーバーやトイレが完備されているので必要最低限の生理現象は何とかできます。トイレが近い人は内側の席を取った方がいいです…。一緒に行った友達は窓側の席をとったのですが、隣の人が寝てしまい、その人が起きて道があくまで尿意を我慢していたそうです。



～14時間後～

【イグアス到着（ブラジル側）】

14時間のバスで揺られた末、無事に目的地のイグアスに到着することができました。イグアスの滝、国立公園周辺は観光地化が進んでおり、リゾート施設が沢山あります。どの施設も外国人観光客をターゲットにしているため、平均的に宿泊代が高くなっています。ふかまちはイグアスの隣町に Airbnb（民宿のようなもの）に泊まり、すこし節約しました。あまりに宿泊代が安い場所などは治安が悪く、アクセスも良くないので注意が必要です。

～ブラジル花鳥園「PARQUE DAS AVES」～

イグアスの滝の少し手前にはブラジル屈指の鳥類研究機関である **PARQUE DAS AVES** があります。ブラジルに生息する鳥類をはじめ、数種類の爬虫類も飼育・保護しており、動物保護と共に環境保全を世界に訴えています。学生であれば学割が適用され、半額で入場することができます。日本では見られない鳥をたくさん観察することができます。大きな鳥籠の中に入って施設をまわるような感じなので、鳥類が苦手な方には刺激が強すぎるかもしれません…。





【イグアス国立公園（ブラジル側）】

イグアスの滝は、近くで大迫力の滝を見るならアルゼンチン側から、豊かな自然と広大な滝を一望するならブラジル側のように「どのように滝を見たいか」で見る場所を選ぶといいです。ふかまちはブラジル・アルゼンチン両方から見ることをお勧めしますが…

国立公園内は学割があり、半額で入場できます。無人販売機の操作をする必要がありますが、ポルトガル語、スペイン語、英語に対応しているので何とか買うことはできると思います。また、ブラジル側の方が観光としてのツアーパッケージが充実しています。

- ・滝に突っ込むツアー
- ・国立公園内をまわるプチジャングルツアー
- ・バスツアー などなど

ブラジル側から見る方が多くの滝・滝つぼを見ることができ、写真撮影もしやすいです。天気が良ければ、方角的に虹を見ることができるので、天気予報と相談しながら行きましょう。

とてもとても高いお金を払えば、ヘリで滝まで行き、地上からでは見られない景色を見ることができます。2つに分かれた大地には年代ごとの様々な地層を見ることができ、貴重な樹木が生え、動物が生息し、地球のスケールの大きさを肌で感じることができます。いたるところにアルゼンチンとブラジルの旗が掲げられており両国間の国土争いの様子も見るすることができます。

これはアルゼンチン側。



こっちはブラジル側

